

# キック・オフ・シンポジウム

## 多様化する嗜癖・嗜虐行動をめぐる トランス・アドヴォカシー・ネットワーク (ATA-net)

アルコール・薬物への依存、DVや虐待、性暴力、ギャンブル、万引き・摂食障害、インターネット依存などの多様な嗜癖（しへき）・嗜虐（しぎゃく）行動（アディクション）の背景要因には「孤立」があり、これに対応するには、「公」と「私」の領域を超える支援モデルが不可欠です。しかし、現状では、公的支援間の分断のみならず、処罰への過信、自己責任論による当事者の孤立、家族への責任転嫁などが蔓延し、適切な支援が行なわれていません。本プロジェクトは、多様化する嗜癖・嗜虐行動を新たな視座の下で再定義し、「アディクション円卓会議」（“えんたく”）により、当事者と支援者の間に課題をめぐる関係性を醸成することで、「公」と「私」の間にあらたな公共圏として「ゆるやかなネットワーク」の構築を目指します。

参加費：無料

日時

2017年

3月11日 土 10:30-17:00

<会場>

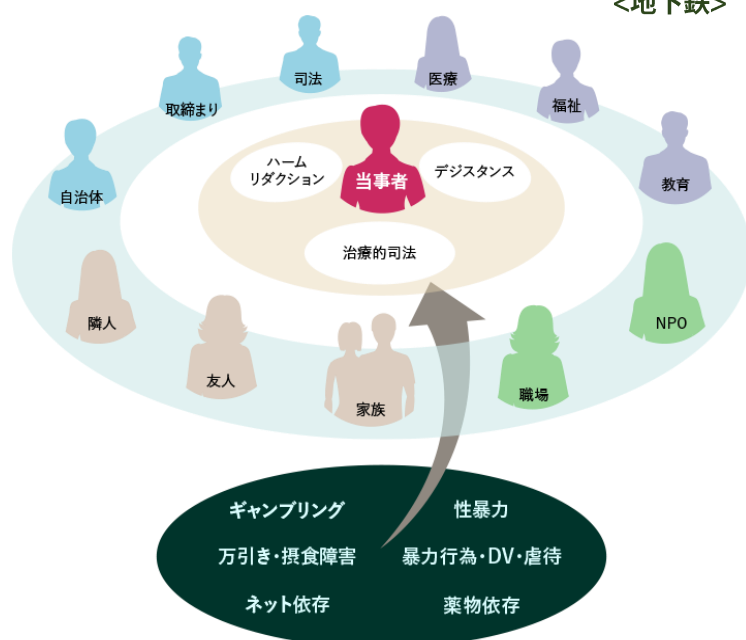
TKC飯田橋本社 2階ホール

東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル2F

<J R> 飯田橋駅より徒歩5分

<地下鉄> 有楽町線、東西線、南北線

大江戸線、飯田橋駅、B4b出口すぐ



プロジェクトが考える

「新しい公 / 私空間」とは

嗜癖・嗜虐行動（アディクション）の背景には「孤立」という共通の背景があります。たしかに、政府も、薬物依存、DVや虐待、性暴力などの個別問題については規制対策を進めています。最近では、ギャンブル、万引き、摂食障害、ネット、携帯電話などへの依存も、アディクションとしての対応が必要なのではないかといわれています。しかし、当事者やその家族にとっては、「公」の機関の関（しきい）は高く、助けを求めるには勇気と決心が必要です。アディクションは「悪いこと（犯罪）」「恥ずかしいこと（逸脱）」というレッテルが張られるので、当事者は孤立し、「私」の中に閉じこもっていきます。わたしたちは、このような「公 / 私」の硬直した関係を打ち破り、当事者と支援者の「ゆるやかなネットワーク」を構築することで、嗜癖・嗜虐行動をめぐる「新たな公共圏」を創り出そうとしています。

【主催】

科学技術振興機構（JST）「安全な暮らしをつくる新しい公／私領域の構築」

社会技術研究開発（RISTEX）研究開発領域・戦略的想像研究推進事業

「多様化する嗜癖・嗜虐行動をめぐるトランス・アドヴォカシー・ネットワークの構築とその理論化」（代表・石塚伸一）

【後援】龍谷大学矯正・保護総合センター刑事法未来PJ / 株式会社TKC /

# 多様化する嗜癖・嗜虐行動をめぐる トランス・アドヴォカシー・ネットワーク (ATA-net)

〔はじめに～企画の趣旨～〕 (石塚伸一 / 龍谷大学 / プロジェクト代表) 10:30-

〔第1部〕 多様化するAddiction (嗜癖・嗜虐行動 ～アディクションをどう考えるか?～ 10:45-

1. 「ネット依存の現状と課題～ネット依存調査から見てきたもの～」(橋元良明 / 東京大学 / 社会学)
2. 「ギャンブル問題の現状と課題～パチンコ依存相談から見てきたもの～」(西村直之 / リカバリー・サポート・ネットワーク / 精神医学)
3. 「摂食障害とクレプトマニア～女性であることは犯罪なのか?～」(後藤弘子 / 千葉大学 / 法律学)
4. 「性犯罪者支援の現状と課題～回復支援から活動から見てきたもの」(奥田剛士 / もふもふネット / 臨床心理)
5. 「物質依存の現状と課題～薬物依存は、孤立の病이었다～」(加藤武士 / 木津川ダルク / 回復支援)

〔第2部〕 多様なTrans-Advocacy (回復支援) の在りかた ～いまの支援では、なにが足りないのか?～ 13:00-

1. 「薬物弁護で何ができるのか?そして、何をしたいのか?」(菅原直美 / みみなしや法律事務所 / 弁護士)
2. 「古い鞘におさまるのではない新しい鞘をつくるための脱暴力のサポート」(中村正 / 立命館大学 / 社会臨床学)

〔第3部〕 支援のネットワーク (Network) “えんたく” ～あなただったら、どう“えんたく”しますか?～ 14:20-

1. 「“えんたく”って、こんなものです。“えんたく”のイメージを共有します。」(土山希美枝 / 龍谷大学 / 公共政策学)
2. 「ワーク・ショップ“えんたく” ～あなただったら、どう“えんたく”しますか?」  
\*参加者のみなさんに3人のチームで15分程度話し合ってもらい、浮かんできたイメージをカードに書いていただき、カードを回収して、ボードに貼付けます。
3. 「地域と困りごとの視点から“えんたく”を読み解く」  
\*Community (地域) の視点から読み解きます (中村正)  
\*Problem (困りごと) の視点から読み解きます (石塚伸一)
4. リレートーク“えんたく” (ナビゲーター/後藤弘子)  
\*多様な参加者のみなさんに感想をうかがいながら、当事者→家族→地域社会→学校→児相→警察→矯正→更生保護→医療→福祉…のゆるやかなネットワークを創ります。

〔まとめ〕 (指宿信 / 成城大学/刑事法) 16:30-

## お問い合わせ

龍谷大学 石塚伸一研究室 TEL : 075-645-8466 E-mail : ishizuka@law.ryukoku.ac.jp

## ウェブサイト

多様化する嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワークの構築 [http://ristex.jst.go.jp/pp/project/h28\\_1.html](http://ristex.jst.go.jp/pp/project/h28_1.html)

## 参加申し込み

参加をご希望される方は、事前にお申し込みが必要です。  
インターネットかFAXにて、お申込みください。

## インターネットから

<https://goo.gl/forms/cEJ8KNYJIAsEQi543>

- ① 「お申し込み」フォームの必要事項を入力後、送信ボタンを押してください。
- ② 登録されたメールアドレスに受け付け完了メールを返信します。



## FAXから

以下の参加申し込み書の必要事項をご記入の上、送信してください。

### 2017年3月11日 多様化する嗜癖・嗜虐行動をめぐるトランス・アドヴォカシー・ネットワーク 参加申込書

|      |   |                       |  |
|------|---|-----------------------|--|
| フリガナ |   | メールアドレス               |  |
| お名前  |   | ご所属・ご職業<br>(差し支えなければ) |  |
| ご住所  | 〒 |                       |  |
| 電話番号 |   | FAX番号                 |  |



FAX

075-645-8646